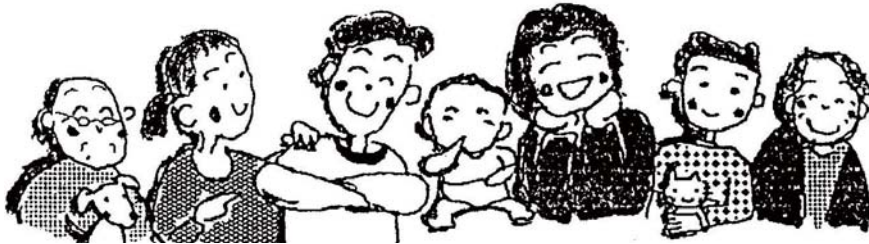


【ものづくり 人づくり 地域づくり】

組合員のみなさんへ！

# 2013年の事業改革と 予算編成にかかわる提案



明けましておめでとうございます。年明けからこのような提案でたいへん恐縮ですが、わたしたちの協同組合の将来も含めて、この状況を組合員・役職員・生産者の力を合わせて乗り越えてゆきたいと思えます。職員集団も重点を絞り業務を効率化し、いっそう地域のくらしを守るという新たな決意で「協同の仕事づくり」にもチャレンジします。どうか総意を寄せていただけますようお願い申し上げます。

専務理事 柿崎洋



## 提案要旨

- (1) ムダ・ムリをなくして収支・採算がとれるよう効率化
- (2) 放射能対策等の食の安全にかかわる基本は堅持
- (3) 実費的負担のお願いと積立増資減額
  - ①「基本手数料」105円
  - ②「個配料」105円(週6000円以上は免除)
  - ③「積立増資」は週100円に減額
- (4) 食とくらしの教育文化・情報、職員教育研修充実
- (5) 生産者へのお願い
- (6) 注文方法の多様化(インターネット注文導入等)
- (7) 配送コースの圧縮・再編成への協力をお願い
- (8) 生活関連新規事業、関連子会社・ワークスの設立
- (9) 東京電力への損害賠償請求

## 【今週のニュース】

○ 2013年度事業・予算方針の理事会からの提案、組合員意見のお願い

### 手作りのおいしい「手前味噌」は、家族の健康の基礎！さあ、寒仕込みの季節です！

放射能に負けない身体づくり3年目も味噌や麴という日本の発酵食品から！昨年仕込んだ味噌は約1年後に0.5ベクレル/kgになっていました。味噌汁1杯で味噌5～10gですので微量です。

今年はまだ選別作業が終わっていないことから、お届けされる選別後の大豆はまだ測定できていませんが、今年からは自前のGe半導体測定器で収穫直後のものから複数の検体を調べています。現時点での詳細は別チラシをご覧ください。

## 【2013年度事業および予算編成方針】

より堅実で安心の常総生協づくりに向けて

# 理事会より組合員のみなさまへ（提案）

2013年度事業改革ならびに手数料・個配料導入についての提案

11月、上半期の決算報告とあわせて今期たいへん厳しい組合経営にあることをお知らせしました。

組合員の皆様から毎週たくさんのご意見、提案を頂きました。ありがとうございます。

理事会では、組合員のみなさんの意見・提案を受けて、第8回理事会（12/21）にて2013年度の事業及び予算編成方針の検討を行い、下記のような理事会の考え方、「事業改革」「手数料・個配料の徴収」についての具体的な提案をお示しし、組合員みなさんのご意見を再度お聞きすることとなりました。

約1ヶ月半の期間で組合員意見を集約し、意見をもとに修正や補強を行った上で2月22日の理事会で最終確認をしたいと考えております。

ご意見をよろしくお願ひいたします。

2013年度事業改革ならびに手数料・個配料導入について理事会から組合員への提案

常総生協理事会

1. 2012年度は、リーマンショック以後2度目の景気後退局面に入り、家計は緊縮基調となっています。また2011年の原発震災による食や環境の放射能汚染が心配され、生協として放射能対応に努力したものの組合員の一人当利用が低下しています。
2. その結果、常総生協の2012年度決算は供給高で4,600万円減、粗利益で1,400万円減り、最終利益（経常剰余）は過去10年来はじめて単年度赤字となる見通しです。
3. 理事会は、状況の変化に早急に対応して2013年度は赤字を出さないで採算がとれる事業にするための「経営対策」をとりまとめました。以下の点を組合員に提案し、ご意見を頂いて修正した上で執行させて頂きたくお願ひ申し上げる次第です。

## 【1】ムダ・ムリをなくして収支・採算がとれるように効率化をはかります。

「儲ける」ことが協同組合の目的ではありませんが、みんなの知恵と協力を頂いて組合事業の中のムリ・ムダをなくし事業の効率化をすすめて、最低収支が合う状態にします。

**すべての事業と業務の見直し作業をすすめます。とりわけ職員集団は積極的にアイデアを出し、新たな創意工夫、残す仕事・なくす仕事を明確にしてポイントを絞って業務効率をあげる作業に集中します。あわせて、これから10年の「事業計画」を策定して提案します。**

## 【2】放射能対策等、食と健康の基本にかかわる業務は維持・継続します。

原発事故に伴う放射線被ばく対策は最初の5年間がいちばん重要な時期であることから、ムリ・ムダとは考えずに、食品放射能検査と表示などの業務は食といのちの基本にかかわる業務として維持することを確認し、整理・削減対象といたしません。

放射能検査室は「品質管理室」に改編し、関連する研究・検査機関と連携をはかりながら、食品栄養素分析やミネラル分析、微生物検査、土壌分析などに順次拡張・充実させてゆくこととします。

## 【3】実費的負担のお願い

これまで他生協が基本手数料や個配料を導入し、こうした負担がないとなかなか生協の経営が成り立たなくなる中で、常総生協は利用の水準をみんなで高める食の運動をすすめるとともに、他方で過剰な投資を控えて、手数料・個配料を頂かないでやってきました。

途中ではリーマンショック（2008年）等もありましたがなんとか10年来黒字経営でやってきました。

ところが2011年の原発震災・放射能汚染は、わたしたちがいちばん大切にしていた食と環境の安全を根本から脅かし、それへの業務対応と組合員利用の反応はたいへん厳しい状況を迫られました。

こうした経営の状況に対応しつつも、基本を曲げずに乗り越え、かつ将来へいっそうの充実をはかってゆくために、下記の通り基本手数料と個配料の導入を提案させていただきます。

### ①「基本手数料」105円（税込）の導入

毎週のご注文を頂くことが基本ですが、注文書未提出の方が毎週2割近くおり、年間では500万円ほどがムダになっています。職員が電話で注文をお聞きすることもあります。

大変恐縮ですが他生協と同一水準で「基本手数料」につきまして105円（税込）のご負担を頂くことを提案します。

### ②「個配料」105円（税込）の導入

（1回6,000以上の利用の場合免除）

利用高が低迷する中で採算性を維持するためには「導入やむなし」との判断を行いました。

「週利用6,000円未満の場合、105円の個配料」を頂戴することを提案します。（6,000円以上の場合免除、班（グループ）の場合無料）

### ③「積立増資」は週100円に減額

他方、組合員の家計支出の負担軽減のため「積立増資週200円」を「100円」に切り下げます。もちろんそれ以上の増資は歓迎です。

「出資増強・消費者自身の自己資本強化」は生

活協同組合の基本課題ですが、常総生協は大型投資・大型資産（大型センターなど）を持たずに来たことから自己資本（出資）比率が50%を越える財務状況であること。また過去の累積欠損も昨年までに解消したことから、今後毎年の利益を積み立ててゆき、今回のような震災や事故、子ども健康調査などの緊急時に使える「任意積立金」や、職員の「退職給与積立金」にまわしてゆきたいと思います。

「積立増資」の一部を「基本手数料」に替えて利益に繰り入れながら任意積立金を積み立ててゆきたいと考えます。

## 【4】食とくらしの教育文化・情報、職員の教育研修を充実させます。

上記負担につきましては組合員の利用状況や損益状況の改善を見守りながら見直しや改善をしてゆきますが、今後の10年を見据え、いっそう食の安全と生活の質的充実をはかるための教育文化費の予算化や、情報や広報の充実、そして組合の財産となる職員の教育研修を充実させるための資金としても生かしてゆきたいと考えます。

## 【5】生産者へのお願い

生産者へは、組合員が食への理解を深め、利用を促進できるような講習会や商品説明会の開催、利用普及のための「特別価格」の提供などをいっそうお願いすることとします。

また生産者と消費者をつなぐ要である職員をものづくりの現場で研修させたく、その受け入れもお願いしたいと思います。

※参考資料 他生協ほかの宅配料等

他生協・宅配業者	手数料・配達料合計	(内訳)		備考 (個配料免除)
		手数料	配達料	
コープデリ (いばらきコープ・ちばコープ)	189円	84円	105円	週15,000円以上、子育て2歳まで、65歳以上
パルシステム (いばらき・ちば)	200円	100円	100円	週12,000円以上、子育て6ヶ月、65歳以上
なのはな生協	210円	105円	105円	週12,000円以上、子育て2歳まで、障害者
よつば生協	100円	100円		子育て1歳まで
東都生協	189円	139円	50円	週10,000円以上、子育て減免、65歳以上
ナチュラルコープ ヨコハマ	400円		400円	月30,000円以上、子育て3歳まで、65歳以上
大地宅配	210円		210円	なし
らでいっしゅぼーや	189円		189円	なし
生活クラブ生協				個配は商品価格体系が違う

## **【6】 注文方法の多様化（インターネット注文の導入等）をすすめます。**

パソコンやスマートフォンなどが普及し、若い方たちは抵抗なく自由に使われている状況に鑑み、注文方法の多様化に向けて2013年6月総代会までにはPCまたはスマートフォンからの「インターネット注文」ができるようにします。

また、産地の様子や生産者からのビデオメッセージなどをスマートフォンなどにお届けするしくみや、牛乳や豆腐・納豆など決まった定番品を定期でお届けする「マイセット」企画も導入します。特別企画品の翌週配達化も順次すすめます。

## **【7】 配送コースの効率化のため、ご協力をお願いします。**

配送コースの採算分岐点は1コース当たり36万円ですが、現在平均33万円となっております。

年度内3月までにコースの再編成・整理をすすめて7コースを圧縮します。配達曜日が変更になる地域があります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

## **【8】 生活関連新規事業、関連子会社、ワーカーズ等の設立**

事業の再編成に伴い、「仕事づくり」をすすめて職員の雇用を確保します。職員の年齢や特性・意欲に応じて「新規事業立ち上げ」や「起業自立」を支援、および関連子会社やワーカーズコープ等を創設して、自立した協同事業グループ化をすすめます。

1月より職員討議と具体化を開始し、半年の猶予期間を頂いてすすめます。

## **【9】 東京電力への損害賠償請求**

東京電力福島第一原発事故に伴う賠償は加害者東電から拒否されています。民事訴訟の時効は3年ですので、2013年中に法的手段に訴えてでも賠償を求め、経営補填することとします。

4. 以上の理事会提案を2013年1月に組合員に提案し、組合員討議と意見集約をして補強修正して、2月22日の理事会にて最終決定を行い、2013年度予算編成を行い、4月度より実施に入りたいと思います。  
ご意見をよろしく願います。

## **理事会討議で検討されたこと、出された意見**

### **1. 一人当たり利用の加入歴別状況**

ここ3年ほどの間に加入された全体の2割を占める組合員の利用が低い・・・常総生協の食材に慣れていない。それはとてももったいないこと。

商品の説明や講習会、利用の働きかけが不十分だとすれば、素材の良さや手作りの利用の仕方、料理などをていねいに伝えていく商品活動やフォロー業務を重点にすべき。生協は市場のマーケティングとは違う熱意で。特に、良い素材で料理することが栄養価も高く、実はたいへん経済的でもあることを実例を示して伝えることをすべきである。

### **2. 利用の世代別特徴**

3年以上利用されている組合員では、60代以上の利用が伸びている。30代の若い子育て世代も伸びている（放射能対策による安心か？）。50代の利用が落ちている。この世代は家計の中で教育費等の負担が大きいのではないか。

3. 長く常総生協を支えてきてくれた先輩たちや年金生活をされている組合員へは配達料は免除すべきではないか。

4. それぞれの事情をみんなで引き受けていくのが生協ではないか？個配料に基準をもうけるのはいかがなものか。

5. 基本料とか個配料とか区別せず、一括してみんなで支えるという方がわかりやすい。

6. 他生協の手数料などを見ると、よく常総は無しでやってこれたものだ。商品の価格などを比較してみたが価格に上乗せされてもいない。これでは経営に余裕がなくなり、ひいてはサービスや人材育成に余裕がなくなり持続可能性・将来性に欠ける。

7. 他生協の配達料免除は週1万円以上なのに、どうして6,000円以上免除なのか？・・・これまで平均週6,000円をみんなの目標にしてきたことから。